

# 親子聖書日課

[日]信仰上のことは、私達だけで決めないことです。エルサレム会議でも、「聖霊と私たち」で決めました。自分の意志より、まず聖霊の導きを求めることです。そうすれば、見事な解決と一致が与えられます。その為に、御言葉と祈りが大切です。

[月]パウロはマケドニア人の叫びを幻で聞いて、ヨーロッパに渡り、最初に伝道したフィリピで救われたのが、リディアでした。彼女は家族を救いに導き、家を開放して伝道しました。家庭から生まれたのがフィリピ教会であり、今日の上尾教会です。

[火]私達にとって家族の救いは、一番の願いです。家族と一緒に礼拝を捧げ、一緒に天国に行きたいですね。31節の約束を信じて、家族の救いを祈りましょう。家族はあなたの信仰をよく見えていますから、日々の生活で主を証しましょう。

[水]なぜ、毎日、聖書日課に励むことが大切なのでしょう。それは、一週間分、食いだめができないように、礼拝だけでは、今日を生きる力にはならないからです。ペレヤの人々も「毎日、聖書を調べていた」ので、多くの人の信仰が成長しました。

[木]「死者の復活」を聞くと、「あざ笑う」人がいるのは、現代も同じです。だから、人の躓きとなる復活は語らないと決めてはいけません。アテネでは主の復活が語られた時、僅かながら信じる人が起こされました。大胆に、復活を語りましょう。

[金]「この町には私の民は大勢いる」と、主は約束されましたが、23万人の上尾市にクリスチャンは1%もいません。殆どの方は福音の素晴らしさを知れません。先に救われた私達は、黙ってはいけません。恐れなくて、主を語り続けましょう！

[土]伝道者を育てるのは、神学校だけではありません。プリスキラとアキラはアポロを家に招いて、「もっと正確に神の道を説明した」のです。二人は、アポロの欠けた所を知って、愛をもって教えました。それは楽しい語らいの時になったでしょう。



NO.1969 2026.6/21-27

名前

	聖書	問題	答え
日	使徒言行録 15:22-41	何と私たちは一切あなた方に重荷を負わせないことに決めましたか。	
月	16:1-15	フィリピで主を信じ、パウロ一行を家に泊めたのは、誰ですか。	
火	16:16-40	主イエスを信じれば、あなたも誰も救われますか。	
水	17:1-15	ペレヤのユダヤ人たちは、毎日何を調べていましたか。	
木	17:16-34	どんなことを聞くと、ある者はあざ笑いましたか。	
金	18:1-17	この町には、主の民はどのぐらいいますか。	
土	18:18-28	プリスキラ・アキラ夫妻はアポロを招いて、何を説明しましたか。	
感想と祈りの課題			